

(様式1)

## 令和4年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)  
富山県創業支援センター 成長戦略室

2 施設所在地  
富山市蓮町一丁目7番3号

3 施設設置年度  
令和4年度

4 設置目的  
県内における創業を支援するための環境を整備し、もって地域経済の活性化に寄与することを目的とする。

5 施設概要  
SCOP TOYAMA (富山県創業支援センター1棟、富山県創業・移住促進住宅2棟)  
敷地面積 11,065㎡  
富山県創業支援センター  
鉄筋コンクリート 4階建て  
延床面積 1,480.76㎡

6 指定管理者  
蓮町創業支援拠点運営共同体

7 指定期間  
2年10ヶ月  
令和4年6月1日 ~ 令和7年3月31日

### 8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

#### (1) 利用者数 (人)

H30	R1	R2	R3	R4
-	-	-	-	372

#### (2) 利用(使用)料金収入 (千円)

H30	R1	R2	R3	R4
-	-	-	-	1,562

#### (3) 利用料金収入見込み額

H30	R1	R2	R3	R4
-	-	-	-	928

## 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・当初の計画では、センターの立地などから稼働率は年々ゆるやかに上昇する、と見込んでいたが「うれしい誤算」で年度内にシェアオフィス・オフィス・チャレンジショップは満室となり稼働率は100%となった。これにより、開所準備とは異なる「運営準備」が追いつかないほどの内見・入所対応に忙殺されることとなった。入所者募集にあたっては、特段広告を使用することなく、広報・ホームページ・公式LINEでの発信のみで進めたが、それだけで満室稼働になるということが実績として判明したので、この後入所者が入れ替わることがあったとしても大きく問題になることはないと思われる。

### (2) サービス向上に向けた取組み

・チャレンジショップの合同チラシの発行  
・チャレンジショップへの誘導看板の設置  
・ラボの機材の使い方の説明については、当初スタッフで行うことを想定していたが、外部から講師を手配し、丁寧に細やかな機材の説明を行った。

### (3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・LINEの活用  
・インスタグラムの活用  
・サイトでのお知らせ

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

#### ① アンケート結果

実施方法	セミナーやイベントの参加者を対象にアンケートを実施
回答者数	22
結果	「わかりやすかった」「満足した」が回答者の77%
結果を踏まえた改善事項	・アンケートの回収率を上げられるよう、リマインドなどのタイミングを改善する。 ・参加者からの反応は概ね好評。 ・時間帯などを週末昼、平日夜の開催などを織り交ぜ参加者層を増やしていく。 ・ワークショップは概ね好調なため、継続できる体制を作っていく。 ・事業ステージ初期の方に向けたワークショップが中心だったため、今後あらゆるフェーズの人に向けた企画も進めていく。

#### ② その他利用者の声を反映させる取組み

・「事務局へのご意見や連絡」「イベント」「掲示板」「なんでも相談」などのチャンネルを設置し交流の場としてslackを活用

### ③主な苦情と対応

・コワーキングスペースを利用していると足元が寒いので、ブランケットなどを常備してほしい。  
→各コワーキングスペースにブランケットを用意した。  
・ダイニングリビングキッチンに経済や起業に関する雑誌があると嬉しい。  
→ビジネス書や雑誌を配架した。  
・駐車場からチャレンジショップ店舗への看板も案内版も矢印もないからお店がどこにあるかわからないと言われた。  
→駐車場から店舗までの通り道にA看板を設置した。

### (5) 個人情報保護の取組み

・個人情報に関するルールを定め、スタッフに周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

### (6) 関係団体との連携

・他の創業支援施設との連携によりイベントを実施  
・県外のインキュベーション施設と連携し、施設や入居者のPRを実施

### (7) 施設・設備の維持管理

・日常的な清掃に加え床、ガラス、空調等の特別清掃を実施しており利用者へ快適で衛生的な施設を提供できている。設備に不具合が生じた場合も維持管理業者による迅速な対応を行い、安心安全な施設の提供に努めている。

### (8) 危機管理・安全管理などの取組み

・緊急連絡通報体制図(連絡網)ならびに緊急事態対応マニュアルの作成を行うとともに、避難訓練を実施し、適切な危機管理・安全管理に取り組んでいる。

### 10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

	有/無	回数(有の場合)
①定期報告の受理	有	10
②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認	有	14
③個人情報に関するトラブルの有無	無	-
④危機管理・安全管理上のトラブルの有無	無	-

### 【トラブルの具体的内容と対応】

無

### 11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・入所者や利用者の属性やステージはさまざまであるため、それぞれの相談内容に応じたより適切な支援を行っていくことが必要と考える。  
・施設の認知度はいまだ高くないこと、独立して間もないチャレンジショップ出店者の集客力が弱いことや、近隣住民からは地域との交流が求められていることなどから、認知度の向上と顧客接点を多く設けていくことが必要と考える。  
・今後は、コワーキングスペースや貸室の利用率も高め、入所者に限らず多くの人が利用し、より活発な交流が生まれるような賑わいのある施設としていくことが必要と考える。